

知事臨時記者会見

■日時 令和2年3月7日（土）21:00～21:20

■会場 応接室

【発表事項】

本日、福島県衛生研究所が行った新型コロナウイルス検査の結果、陽性となった患者が確認されました。新型コロナウイルス感染症の本県での発生は初めてとなります。

患者の概要ですが、70代の男性でいわき市に居住しています。

これまでの経過ですが、2月21日金曜日、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」を下船後、国が指定する施設で健康観察の措置がとられました。なお、この健康観察は、クルーズ船内で患者の妻が陽性と判明し、県内の病院に入院することとなったため、国の指示で行われたものであります。2月27日木曜日、自宅に帰宅されました。2月28日金曜日、いわき市による健康フォローアップが開始されました。3月2日月曜日、のどに違和感がありましたが、その後、症状が軽減しました。3月6日金曜日、昨日であります。再びのどに違和感があり、帰国者・接触者外来を受診されました。3月7日土曜日、本日であります。福島県衛生研究所での検査の結果、陽性であることが判明いたしました。現在入院中であり、症状は軽減しております。

2月29日土曜日、3月4日水曜日に、マスクを着用した上で、近所のスーパーを15分程度、利用しております。また、3月5日木曜日、車でドライブをしましたが、車からは出ておりません。3月2日月曜日から3月6日金曜日までの詳細な行動及び濃厚接触者については、いわき市保健所において現在調査中であります。

続いて、県民の皆さんへのメッセージをお話いたします。

本日いわき市において、県内初めてとなる、新型コロナウイルス感染症の患者が確認されました。福島県では、今後、いわき市と共に、濃厚接触者の把握を含めた調査等を進めてまいります。

県民の皆さんには、感染拡大防止のため、咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底していただきますようお願いいたします。

また、先週には、国から、全国の小・中・高等学校及び特別支援学校において、臨時休校とするよう要請がありました。本県としても、感染拡大を防ぐため、早期に対策を講じる必要があると考え、全ての県立学校を3月2日からの臨時休校とし、市町村等に対しても同様の対応を要請いたしました。この対応により、児童生徒はもとより、御家族の皆さんにも御負担をおかけすることになりますが、感染の拡大を防ぐ大変重要な時期でありますので、御理解と御協力を頂きますようお願いいたします。

県民の皆さんにおかれましては、感染症予防の徹底を重ねてお願いいたします。風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、お一人お一人の咳エチケットや手洗いの励行が重要となります。感染拡大を抑えるため皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

また、風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いておられる場合、さらに、強いだるさや息苦しさがある場合、あるいは高齢の方や呼吸器系の基礎疾患がある方で、こういった症状が2日以上続く場合には、最寄りの保健所の「帰国者・接触者相談センター」に御相談いただき、そのアドバイスに沿って医療機関を受診するなどの、対応をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの状況の中で、県民の皆さんの生活や経済活動などに様々な影響が及んでおります。国や県等の発表する情報に留意し、落ち着いた行動をとっていただくようお願いいたします。

県といたしましては、引き続き、国や市町村、関係機関と連携し、県民の皆さんの不安解消と感染拡大防止に向けて必要な対策を的確に進めてまいります。以上が県民の皆さんへのメッセージであります。

続いて、報道機関の皆様をお願いいたします。

今後、更に県民の不安の声が強まることが想定されますことから、県としても引き続き、正確で迅速な情報発信に努めてまいります。県民の皆さんへの正確な情報提供に御協力を頂きますようお願いいたします。また、感染者や家族周辺の方のプライバシーにも是非、配慮をお願いいた

します。

本日22時より、「第4回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催いたします。発生の状況を踏まえ、全庁的に対応を検討してまいります。重ねて申し上げますが、県民の皆様には、正確な情報を確認していただき、落ち着いた対応をお願いいたします。

【質問事項】

【記者】

3問伺います。まず男性ですが、船内での検査は陰性だったということよろしいでしょうか。また、妻の陽性が確認されたのは、何日になりますでしょうか。奥様の容態は現在、どのような状況でしょうか。

【知事】

まず1点目ですが、船内での検査では、男性は陰性でありました。

また、2点目、3点目、患者の妻についての問い合わせであります。今日、本部員会議の後、事務方からのブリーフィングを行います。その中で答えられる範囲で回答させていただきます。

【記者】

2日に、のどに違和感があったと伺いましたが、その日に受診はしていないということでしょうか。

【知事】

3月2日は、のどに違和感、いがいがの症状が出ました。その後、同じ日の午後から夕方にかけてその症状が軽減しております。したがってその時点では受診しておりません。翌日からもののどに違和感は続いていました。日によって調子が良くなったりもしていたようですが、3月の6日金曜日に、いわき市保健所の保健師が悪化傾向との話を聞き取って、帰国者・接触者外来の受診になりました。現在、患者は熱はなく、軽症であると聞いております。

【記者】

近所のスーパーに行ったということですが、両方とも同じスーパーということでしょうか。

【知事】

まず、このスーパーには、マスクを着用して訪れております。また、スーパーにつきましては、後ほど事務方から話すことができる範囲で説明させていただきます。

【記者】

濃厚接触者は現在調査中ということですが、男性はいわき市の自宅に戻った後、自宅には奥さん以外の家族はいるのでしょうか。

【知事】

患者は現在、ひとり暮らしです。濃厚接触者はないと思われませんが、現在、いわき市保健所で詳細を調査中であります。

【記者】

車内から出られていないが、ドライブされたということでしたが、同乗者はなしということよろしいでしょうか。

【知事】

はい。一人でドライブされていたと考えております。

【記者】

それから奥様が陽性だったということですが、以前、下船された方7名の方々には感染の心配はないと発表いただいたと思います。住所が別なのか、もしくは下船されていないのという意味合いでの場合分けだったのかと推測しますが、これはどういったことなのでしょう。

【知事】

そちらは、本部員会議の後、事務方から御説明をさせていただきます。

【記者】

知事は先ほど、濃厚接触者はいないと見られるとおっしゃったのですが、そうすると、集団感染の可能性は低いと見てよろしいのでしょうか。

【知事】

現時点では、いわき市で確認していただいておりますが、御本人は、原則、家におられました。そして、外出した件につきましては、先ほどのスーパーの話とドライブの話だけですので、濃厚接触者はいないという方向性だということです。

【記者】

下船されてから時間が経ってからの感染確認ということで、改めて新型コロナウイルスの難しさといいますか、そのあたりが浮き彫りになったかと思いますが、これについてどのように受け止めいらっしゃるか教えていただきたい。

【知事】

今回、福島県内で発症された例も、やはり下船されてから一定の期間が経ってからのことでもあります。船内では陰性ということが確認されておりますし、やはり今回、潜伏期間を超えて発症するまでにこれだけの期間がかかったというのが現実であります。

また、全国の様々な例を見ておいても、潜伏期間が長いもの、あるいは、一度陰性になった方が再度陽性になるという事例もあると聞いております。そういう意味で、今回の新型コロナウイルス対応、こういった点も勘案しながら、国、県、地方自治体、さらに、関係医療機関等も含めて対策を進めていかなければいけないと考えております。

【記者】

男性が帰宅するまでの行動というか、公共交通を利用したのかどうかをお伺いしたいのですが。

【知事】

クルーズ船は、2月21日に下船されています。その後、国の指定する施設に2月27日木曜日まで継続して滞在し、健康観察を受けておられました。2月27日木曜日に、公共交通機関を利用して自宅まで帰宅しておられます。2月29日土曜日には、近所のスーパーを15分程度利用され、また、3月4日水曜日に近所のスーパーを15分程度利用されるといったことが、これまでの経過かと思えます。

【記者】

公共交通機関というのはどのような種類でしょうか。

【知事】

公共交通機関につきましては、後ほど事務方から答えられる範囲でフォローさせていただきます。

【記者】

今後の県の対応として考えられることということをご今の時点であれば教えてください。

【知事】

今回の発症症例については、いわき市保健所が中心となって、既に積極的な疫学調査を行っております。濃厚接触者がある場合には特定して、感染症の蔓延防止を図ってまいります。

また、先ほど県民に向けてのメッセージを発信させていただきましたが、やはり学校が休校となり、日本国内の各地でこのように感染者が発生している状況にあります。福島県民の皆さんにも現在の状況を正しく理解していただき、一人一人に可能な感染症対策というものを、是非励行していただきたい、この点をお願いできればと思います。

【記者】

知事メッセージの中では、県民の方に落ち着いた行動をとって欲しい、不安解消と感染拡大防止に向けた対策をとっていくということですが、これで県内でも感染者が確認されて、今後3月中には、聖火リレーですとか、その前には追悼復興祈念式典もあります。こういったところの対策、特に聖火リレーについてどのようにお考えでしょうか。

【知事】

まず、追悼復興祈念式の関係であります。今回のこの発生というものを重く受け止めておりますが、現時点において、既に11日の追悼復興祈念式典については、考える最大限の対策を講じているところでありますので、予定どおり実行していきたいと考えております。

続きまして、聖火リレーの関係であります。今月の4日組織委員会から、「聖火リレー実施における新型コロナウイルス感染症対策の基本的な考え方」が示され、聖火リレーについては適切かつ必要な対応しながら実施することとされたところであります。

聖火リレーにおいては、グランドスタートや聖火の到着を祝うセレブレーション、さらに、沿道での応援など、多くの方々の来場が予想されることから、来場される皆さんの安全・安心を最優先に対応していく必要があると考えております。

聖火リレーの実施形態については、「リレーを実施する都道府県の感染状況等を踏まえて検討する」とされております。県としては、今回示された聖火リレー実施に係る基本方針を踏まえ、聖火リレー、さらには東京オリンピック・パラリンピックの実施に向け、国や組織委員会等と緊密に連携し、感染症対策に取り組みながら、まずは準備を進めてまいります。

【記者】

今回、陰性となって、その後、ぶり返すというか、陽性になるということが確認されましたけれども、県内では7人の患者さんを受け入れて、今回とは別に受け入れていると思います。医療関係者がかなり近くで作業して、働いていらっしゃると思いますけれども、そこら辺の健康の確認というのはどのようにする予定でしょうか。

【知事】

今の7人というのは、福島県民のという意味ですか。

【記者】

違います。クルーズ船の患者の7人です。

【知事】

福島県において、ダイヤモンド・プリンセスで陽性となられた患者さん、これを7名受け入れました。現時点では6人の方が回復され、1名だけが県内におられるという状況であります。

これらは全て指定医療機関で対応しております、当然ながら、それぞれの医院でしっかりとした対策を施した上での対応を行っております。

また、関わった方々の状況については、医療機関の中で、その後の適切な対応がとられているものと考えております。現時点においては、問題はございません。

【記者】

重ねてすみません、また三つほど伺います。

まず、いわき市保健所の健康フォローアップについてなんですが、これは対面だったのでしょうか、それとも電話等のやりとりだったのでしょうか。

あと、検査、陽性の今回結果が出たものはPCR検査という理解でよろしいでしょうか。

あと三点目ですが、いわき市は中核市であり、いわき市に保健所がある中で、内堀知事が今回会見を行われた理由を教えてください。

【知事】

三点お話をいたします。

まず、一点目ではありますが、保健所は電話による聞き取りをしていると伺っております。

二点目、今回の陽性をチェックしたものはPCR検査でございます。

三点目につきましては、今回、いわき市は中核市でありますので、しっかりとした対応をとっていただいておりますが、今回は福島県において初めての発症ということもあり、私がこのようにお話をさせていただいております。

【記者】

独身、単身でお住まいという理解なんですけれども、奥様はいらっしゃらないというか、同居はしていらっしゃらない？

【知事】

奥様は、今、ダイヤモンド・プリンセス号の中で発症されて陽性になっておられて、その後、県外の医療機関に今もなお、おられるという状況であろうかと思えます。

【記者】

現状として、男性がお一人で過ごしていらっしゃったという理解で、家族構成としてはお二人で、お住まいでいらっしゃったという理解でいいですか。

【知事】

念のため後ほど事務局でフォローさせていただきます。

(終了)